

第25回宇宙産業・科学技術基盤部会
「宇宙システム海外展開タスクフォース」

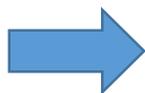
内閣府宇宙開発戦略推進事務局

宇宙システム海外展開タスクフォース

検討すべき項目と方向性(中間取りまとめ)

1. 新たな官民共同の枠組みを平成29年度に整備する。
2. 外交・通商政策等の戦略ツールの一つとして宇宙を位置づけ、ODA・OOF等の活用を検討する。
3. 国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた様々な取組への衛星データの活用を推進する。

これまでの活動を通じ、得られた課題に基づき、政策的方向性を整理する。



- ü ODA・OOF・民間資金等の多様な資金を活用した新たな枠組みを平成29年度に整備するための検討を実施する。
- ü 国家安全保障政策戦略, 開発協力大綱, 宇宙基本計画を踏まえ、内閣府・外務省を中心に関係府省で「宇宙分野における能力構築支援に係る基本方針」を別途策定し、タスクフォースに報告する。
- ü タスクフォースに設置した作業部会を通じ、宇宙技術を活用したSDGsへの貢献についての検討を行う。

目指すべき体制（現状と課題）

相手国政府

海外顧客（海外政府機関、研究機関、民間企等）

政府間対話・招へい・ODA等

官民協力パッケージ提案

営業等

政府

JAXA

JICA

JETRO

政府の施策

内閣府委託調査等を活用し、海外展開TF
作業部会として取りまとめ

ワークショップ開催等

人材育成・共同研究

要人・関係者招へい

Eラーニング・研修等

講師・専門家派遣

企業

企業

企業

大学等

大学等

大学等

1. 政府の委託調査等を活用した事業が中心であり、持続的に相手国との協力関係を構築し、パッケージを取りまとめる持続的な体制が不在

2. 人材育成や打上げ機会等の協力は、研究開発予算等に依存している状況。

➡ 政府施策のみならずODA、OOF、民間資金等の多様な資金を活用した産学官連携によるオールジャパン体制を構築

相手国との長期的な関係を築き、ナショナルプロジェクトとしての案件を形成、協力パッケージを調整する機能が求められている。

【ご参考】

政策的方向性 (平成28年度宇宙政策委員会中間取りまとめ別添3より抜粋)

(1) 長期的協力関係構築に向けたパッケージの組成

人材育成、研修、ネットワーク化

基本計画策定等への関与、アドバイザー派遣

打上げ機会や宇宙関連設備の活用、超小型衛星の取り組み等との連携

(2) 宇宙分野を超えた協力枠組みの構築

産業振興策等との連携(中小企業・ベンチャーの巻き込み)

電子基準点網整備やデータ利用プラットフォーム構築等との連携

超小型衛星の利用部品や試験方法、規格等の国際標準化推進

(3) 地域戦略・面的戦略

ERIA、ADB、APRSAFとの連携、質の高いインフラ輸出との連携

我が国が優位性を有する宇宙技術を活かしたサービスの標準化

(4) 新たな官民協力体制の構築

調査分析・案件形成発掘機能強化に向けた官民協力体制の構築

海外リエゾン機能・調査分析機能の強化、在外事務所との連携等